



読書を行動だと思い込んでいる人は成長しない。

The fatal misunderstanding of the eager learner.



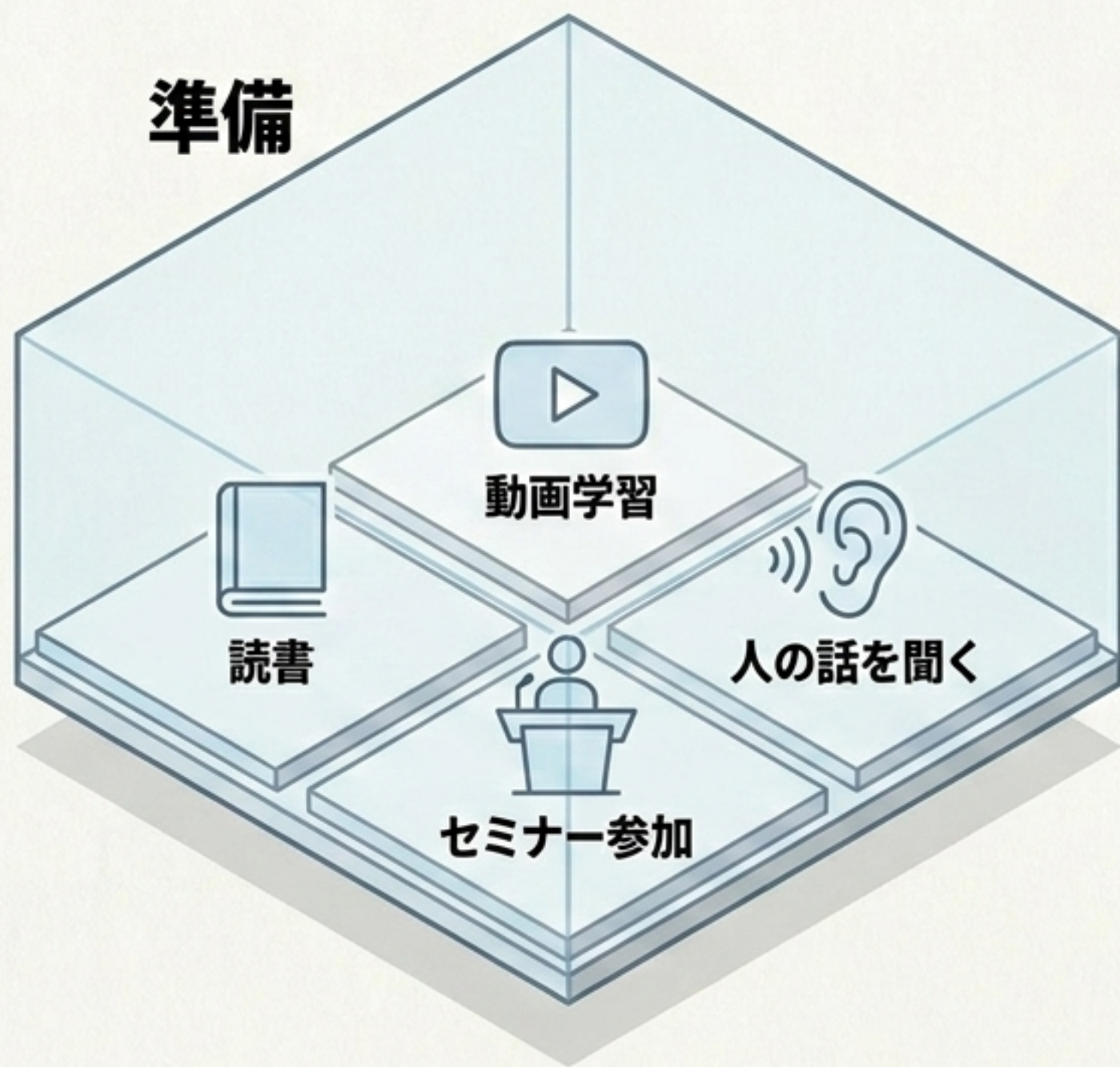
変われない理由は、 能力や意志ではない。

ダメな人が変われない根本的な間違い。
それは、INPUTを行動だと思い込んでいることだ。
本を読み、動画を見て、メモを取り、
「なるほど」と感動する。
一見、前進しているように見える。

- 変わったのは、頭の中の情報量。
- 変わったのは、自分の中の気分。
- 変わったのは、「学んだ感じ」だけである。
- 現実には、まだ何も動いていない。

INPUTはあくまで「行動の準備」である

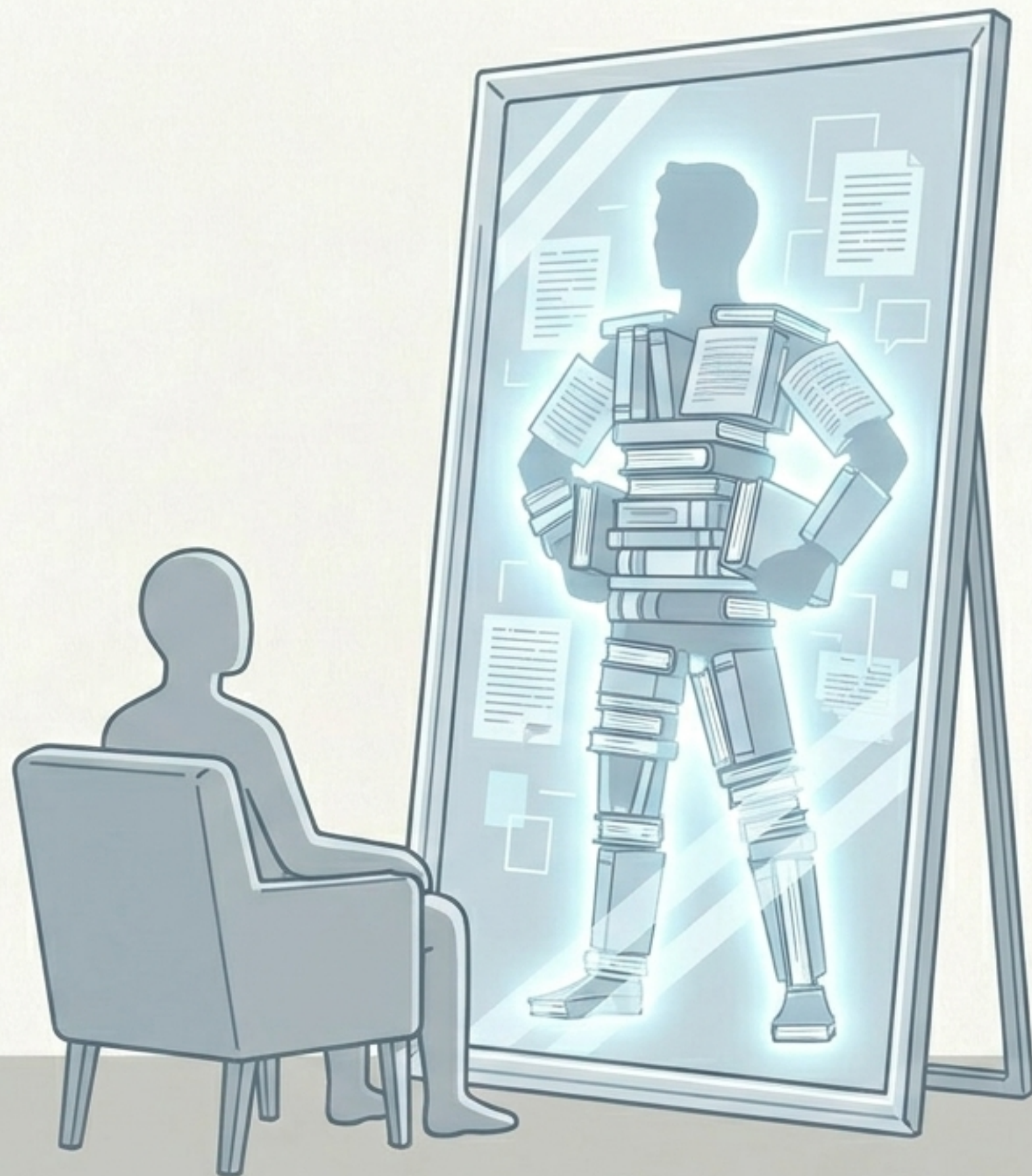
INPUTとは、材料を入れることだ。それ自体に価値がないわけではない。
質の高いINPUTは重要だ。しかし、それは行動そのものではない。



現実

「成長している気分」の摂取

読書好きな人ほど、ここを誤魔化しやすい。
本を読んでいる自分、意識の高い言葉に触れている自分の姿は、
たしかに気持ちいい。
しかし、そこで止まっているなら、
それは成長ではなく麻醉だ。



INPUTだけの人、安全圏から出ていない



本を読むだけなら、失敗しない。動画を見るだけなら、恥をかかない。
メモを取るだけなら、現実から否定されない。

だから気持ちいい。だから続けやすい。だから「努力している感じ」が出る。
現実を変えるために学んでいるのではなく、現実に触れないために学んでいる。

THE MATRIX: 準備 vs 行動

| | INPUT | OUTPUT |
|----|-----------|------------|
| 目的 | 材料を入れる | 現実を変える |
| 環境 | 安全圏 | 未熟さが露出する場所 |
| 感覚 | 気持ちいい・安心 | 痛みを伴う・不安 |
| 結果 | 情報量・気分の変化 | 現実のデータの蓄積 |

本当に現実を変える「OUTPUT」とは何か？



言葉を変える



練習内容を変える



人への接し方を変える



昨日まで避けていたことを実行する

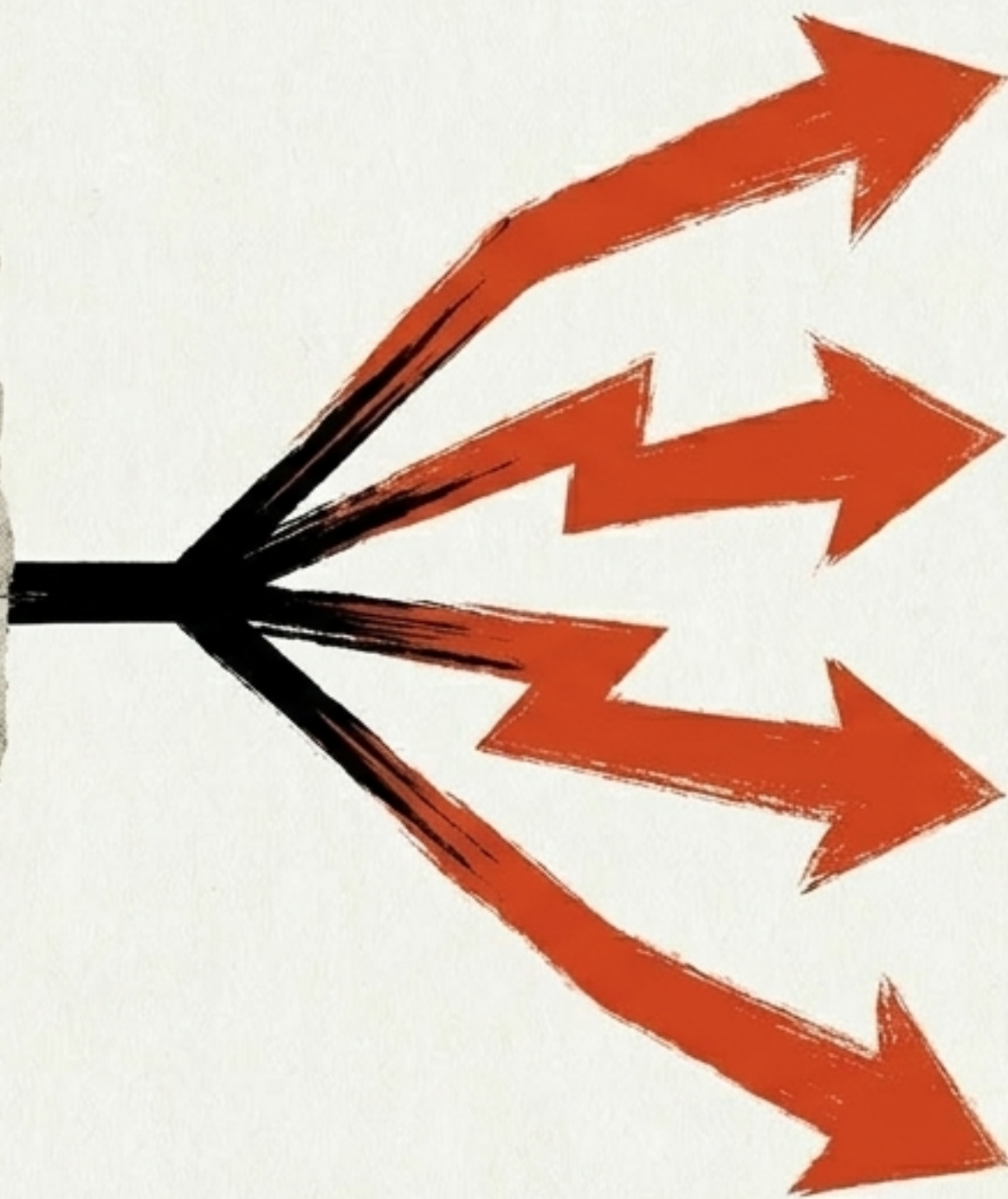
失敗の可能性のある場所に身体を置く。ここからが、ようやく行動である。

一番危険な言葉:「なるほど」



「なるほど」と思った瞬間、人は理解した気になる。理解した気になると、そこで処理が終わる。ここまで行かなければ、学びではない。「なるほど」はゴールではない。

行動変更への入口



では、明日から
何を変えるのか？

では、次の練習で
何を試すのか？

では、誰への接し方を
変えるのか？

では、昨日までの自分の
何を壊すのか？



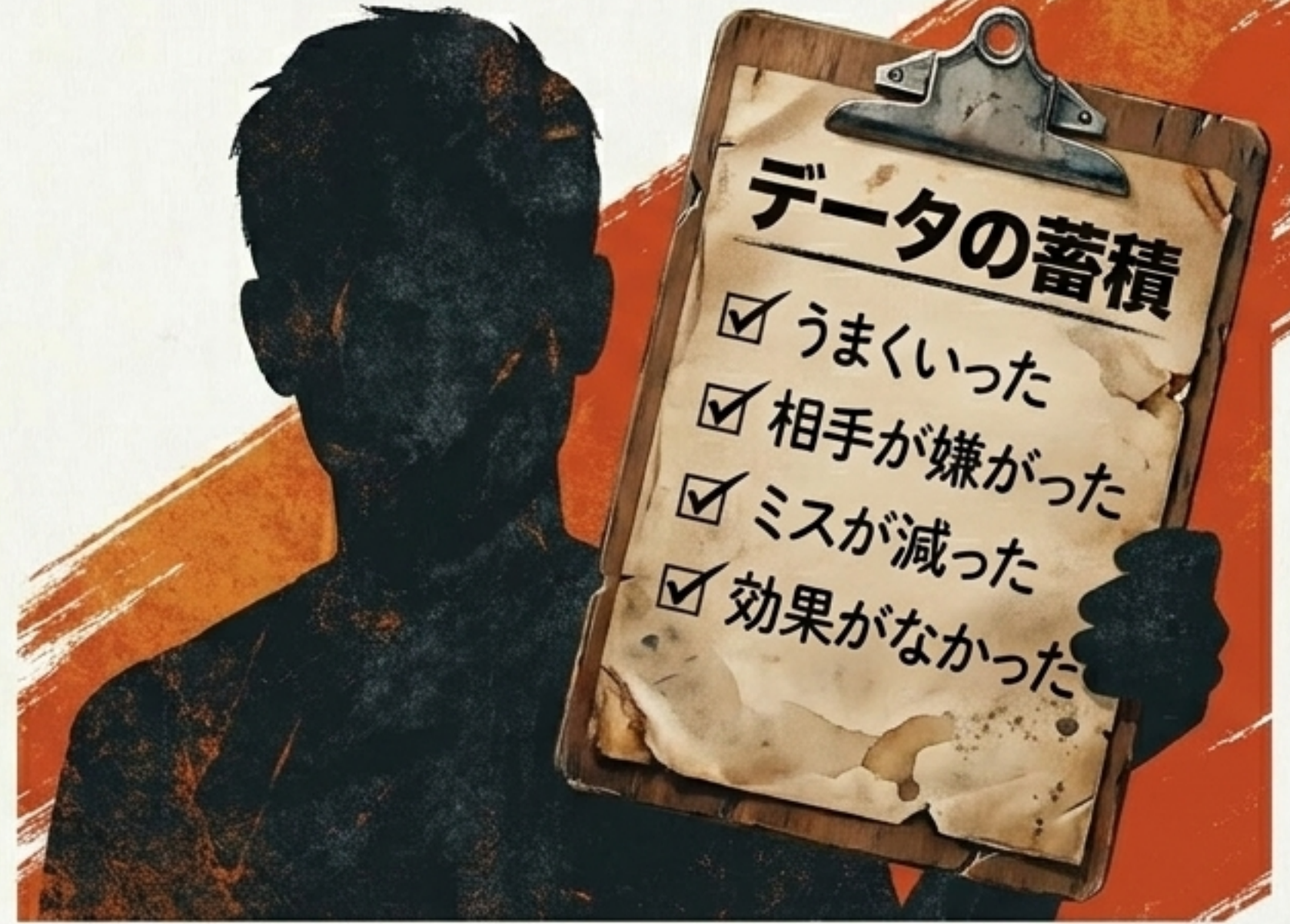
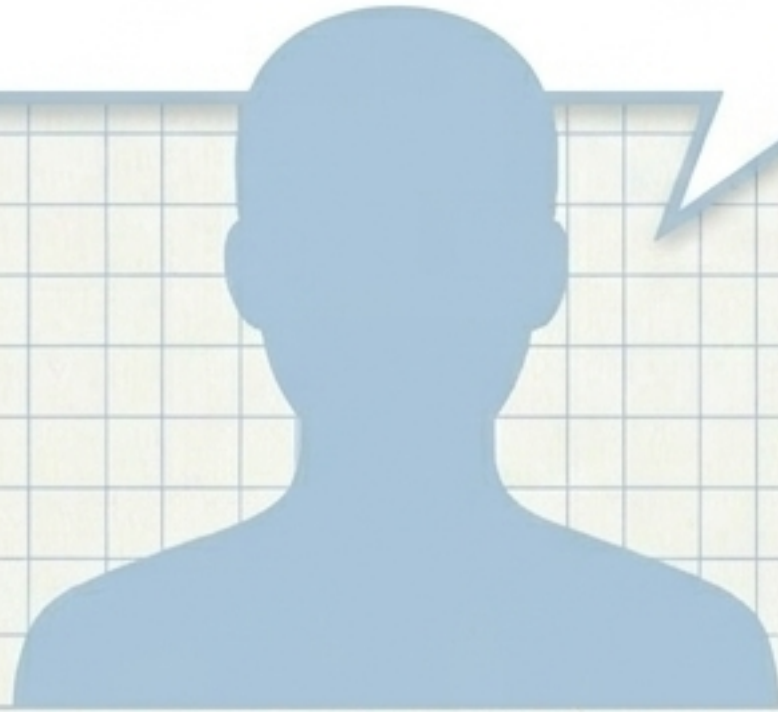
行動とは、現実 に傷をつけること

行動とは、頭の中で完結しない。
現実に触れ、試し、
現実から反応を受け取ることだ。

新しいことを試せば、失敗する。
言葉を変えれば、
相手の反応が返ってくる。
価値観を変えれば、
昨日までの自分が壊れる。

行動した人間にだけ「データ」が残る

いつまでも語ることだけが
上手くなる。正論だけは言える。



INPUTだけの人には、このデータがない。だから現実を変える力は育たない。

読書量ではなく、変更量を見る

読書量:
100冊読んで、
何も変わっていない人



変更量:
1冊読んで、
1つ行動が変わった人

現実を変えるのは、知識量ではない。変更量である。
学習量ではない。実装量である。
感動量ではない。現実への反映量である。

INPUTを行動だと思っている人は、
現実を変えているのではない。
現実から逃げるために、
知識で自分をなだめている。

読書で変わる人は、読んだ後に行動が変わる人。
読書で逃げる人は、読んだことで行動した気になる人。

本当の学びとは何か

昨日と同じ言葉

昨日と同じ練習

昨日と同じ態度

昨日と同じ人間関係

昨日と同じ逃げ方



次の一手

学ぶこと、考えることは大事だ。しかし、明日が昨日と全く同じなら、どれだけ学んでも現実是不変。学びとは知識を増やすことではない。現実に出す自分を変えることである。

読んで満足するな。学んで安心するな。

感動して終わるな。

現実に出せ。

行動を変えろ。

昨日までの自分を更新しろ。

今、何を変える？